

1 啓発対象者の特性や環境等を考慮した普及啓発の例

子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・成長段階に応じた継続的な学習を推進し、市民の責務の意識づけを図り、学校、PTA、区役所、地域等と連携した実践的な訓練を行います。 ・幼年期には、災害の怖さを知り、身を守るための基礎的な行動を習得する教育を実践します。 ・小学校低学年には、災害への備えの大切さを理解し自助について習得する教育を実践します。 ・小学校高学年には、災害のメカニズムを理解したうえで状況に応じた対応を習得する教育を実践します。 ・中学生、高校生へと成長段階が進むに応じて、「自助」だけでなく地域の人々の助けにもなる「共助」の取組について、意識づけを図るとともに、行動に結びつくよう啓発します。
要援護者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や福祉施設等と連携し、要援護者及びその補助者が支援に必要な情報を入手できるようにします。 ・要援護者の参加や見学しやすい訓練・イベントを実施（多目的トイレの設置、在宅要援護者の移動方法の確認、個人情報取扱方法の説明等）するなど、要援護者の訓練・イベント参加を促進します。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・町の防災組織、消防団などが中心となり、環境、福祉、防犯、青少年育成、社会教育など、地域の日常的な活動の中に防災の要素を取り入れることで、継続的な普及啓発に結び付けます。 ・地域での「助け合い」や生活情報などの連絡を円滑にし、日頃からの自治会町内会などの地域コミュニティが活性化されるよう、住民同士のコミュニケーションを活発にしていきます。 ・平日の日中に地域にいる中高生などの若い世代に対して、防災の担い手としての期待が高まっていることから、訓練等に若い世代の参加を促し、地域防災の担い手としての役割の理解・実践につなげていきます。 ・防災・減災の全市的な展開のため、地域の取組事例を集めたホームページを作成するなど活動のノウハウ等を蓄積し、地域が活用できるようにします。 ・防災訓練については、関連する他の訓練（学校での児童引渡し訓練と帰宅訓練など）を組み合わせるなど、より実践的なものにします。 ・地域、企業、学校など多くの主体が連携した実践的な訓練ができるよう支援します。
ペット	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットの飼い主には、所有者明示やペットへのしつけ、健康管理、動物用避難用品の確保、さらには平常時からペットの一時預け先の確保や避難行動計画などの必要性を理解し、行動につながるよう啓発します。
企業	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員とその家族にまで行き渡るような普及啓発を促します。 ・企業の防災の取組状況（BCPの策定状況や浸水防止の取組、備蓄、研修の状況など）を様々なチャンネルを活用して把握します。 ・企業内の防災訓練だけでなく、市や地域が実施する防災訓練に企業の参加を促し、組織的な救助救援や物資の提供などの面で、地域や行政との連携を強化していきます。

2 主な普及・啓発の媒体及び機会

地域・講習会等	<ol style="list-style-type: none"> 1 自治会町内会の自主的防災活動及び地域防災拠点運営委員会に対する指導、助言 2 消防署が行う地域住民に対する防災指導 3 各種団体及び防災関係者を対象とする防災指導 4 パネル展示、講演会、防災フェア 等 5 横浜市民防災センターでの学習・体験
印刷物・ウェブ サイト等	<ol style="list-style-type: none"> 1 地震マップ、液状化マップ、各種ハザードマップの公表 2 「広報よこはま」、「暮らしのガイド」等 3 広報用資料の作成配布（防災パンフレットやDVD等） 4 市ウェブサイトへの掲載、メール、SNS、アプリケーション 等
報道機関	<ol style="list-style-type: none"> 1 新聞、ラジオ、テレビ、ウェブサイト 等
防災訓練	<ol style="list-style-type: none"> 1 訓練による知識及び技能の習得とあわせた、住民に対する防災知識の普及
映像等	<ol style="list-style-type: none"> 1 幼稚園、学校などにおける防災関係の映像の放映 2 自治会、町内会などに対する映像データなどの貸出し

3 主な普及・啓発事項

地震	<ol style="list-style-type: none"> 1 地震及び津波に関する知識 2 防災機関の震災対策 3 地震に対する日頃からの備え 4 地震時における市民の心得(地震時の措置三原則：①その場にあった身の安全 ②すばやく火の始末 ③となり近所の助け合い) 5 地域防災拠点、広域避難場所の周知 6 道路交通規制及びドライバーの心得 7 救出・応急救護の方法 8 南海トラフ地震に関する知識 9 女性・子ども・高齢者・障害者のニーズに配慮した避難場所運営、女性・子どもを狙った犯罪や暴力防止等 10 災害時のごみ排出方法等 11 「よこはま地震防災市民憲章」 12 その他必要な事項
風水害等	<ol style="list-style-type: none"> 1 風水害に関する知識 2 防災機関の災害対策 3 災害に対する日頃からの備え 4 気象・防災情報の入手方法 5 気候変動やその影響への適応に関する知識 6 災害警戒区域の周知 7 避難場所、避難経路、避難行動計画等の確認 8 正常性バイアス等の克服による適切な自主避難の判断 9 自宅の状況に応じた避難行動 10 救出・応急救護の方法 11 火山災害に関する知識 12 女性・子ども・高齢者・障害者のニーズに配慮した避難場所運営、女性・子どもを狙った犯罪防止等 13 災害時のごみ排出方法等 14 その他必要な事項